

NPO法人サロン2002 公開シンポジウム2016

# 日本サッカーのルーツを語ろう！

## －東京高等師範学校の足跡を中心に－

特定非営利活動法人サロン 2002 は、スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”とする NPO です。月例会はすでに 240 回を越え、公開シンポジウムでは毎年さまざまな話題を取り上げてきました。

今年のシンポジウムでは、日本サッカーのルーツ、具体的には明治初期に外来文化としてもたらされたサッカーの導入期から、戦争で中断する昭和初期までを取り上げます。近代国家の形成期にあたる当時の人たちが何を考え、どのような行動を起こし、どうなっていたのかを語り合う場にしたいと考えます。

ちょうど今年、日本サッカーのルーツである筑波大学蹴球部が創部 120 年を迎えます。第 1 回近代オリンピックと同じ年に、筑波大学の前身である東京高等師範学校の嘉納治五郎校長が、放課後の“部活動”を奨励したのがこの部の始まりです。同校の卒業生が全国各地の学校に赴任してサッカーの種をまいていったことはよく知られています。このことは、大戦前だけでなく、いまにつながる独特の日本のスポーツ環境に通じるものがあります。シンポジウムではこのようなことも明らかにしていきたいと考えます。

シンポジウム終了後は、同会場にて懇親会を企画しています。さまざまな立場の方が集い、立場を越えて交流する場となることを願っています。

歴史の中に身を置きながら、年末のひとときを多くの方とともに過ごせることを願っています。

特定非営利活動法人サロン2002

理事長 中塚義実

### 記

主 催 : 特定非営利活動法人サロン 2002

後 援 : 筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ、(公社)横浜カントリーアンドアスレティッククラブ、(公財)日本サッカー協会、日本サッカーミュージアム、

協 力 : 日本サッカー史研究会

日 時 : 2016(平成 28)年 12 月 17 日(土) 14:00~17:00 (受付 13:30~)

会 場 : 桐陰会館

〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1(筑波大学附属中学・高校 敷地内)

東京メトロ 有楽町線 護国寺駅 5 番出口より徒歩 8 分

東京メトロ 丸ノ内線 茗荷谷駅 より徒歩 10 分

演 者 : 真田 久(筑波大学体育専門学群長/筑波大学オリンピック教育プラットフォーム事務局長)

賀川 浩(スポーツジャーナリスト/2010 年第 7 回日本サッカー殿堂入り)

牛木 素吉郎(スポーツジャーナリスト/2011 年第 8 回日本サッカー殿堂入り)

※中塚 義実(NPO 法人サロン 2002 理事長/茗友 SC 理事長/筑波大学附属高校)

※コーディネーターを兼ねる

参加申込 : サロン2002公開シンポジウム参加申込フォームからお申し込みください

<https://goo.gl/forms/PMp1sbAnHAzZUc5Y2>

参 加 費 : 2,000円(ただし学生は無料)

※懇親会参加費は3,000円(学生1,500円)程度を予定

事務局 : 遠山 諒 ※お問い合わせは [salon2002.info@gmail.com](mailto:salon2002.info@gmail.com)までお願いします。

## ＜特定非営利活動法人サロン 2002 とは＞

前身の「スポーツ文化研究会サロン 2002」は、本文末の設立宣言に賛同する“同志”によるゆるやかなネットワーク組織でした。

設立宣言に掲げた“志”を引き継いで、ゆるやかなネットワーク(スポネットサロン 2002)の運営をはじめとする諸事業に取り組む NPO の設立総会が開かれたのが 2014 年 5 月 31 日。10 月 14 日に東京都から認証を受け、10 月 24 日に正式に特定非営利活動法人サロン 2002 が設立しました。

全国各地にいる約 100 名のスポネットサロン 2002 メンバーと約 30 名の NPO 会員は、小・中・高・大の学校関係者、スポーツ指導者やトレーナー、スポーツクラブの運営に携わる方、フットサルや草サッカーの関係者、新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどのメディア関係者、サポーターやボランティア、国や地方自治体のスポーツ行政に携わる方や競技団体関係者、医者や弁護士など多種多様です。さまざまな角度からスポーツに携わり、“志”の実現に向けて活動する者で構成されるのが「サロン 2002」です。

NPO 法人サロン 2002 の主たる活動は、2016 年 11 月で通算 243 回を数える月例会の開催と、その内容を軸とするホームページの運営です。本シンポジウムは公開型月例会として 2001 年度よりほぼ毎年行われ、人と情報の行き交う場として定着しています。

詳細はホームページ＜<http://www.salon2002.net>＞をご覧ください。

### ＜サロン 2002 公開シンポジウム＞

2001 年度…FIFA コンフェデレーションズカップ総括  
2002 年度…FIFA ワールドカップ総括  
2003 年度…地域で育てるこれからのスポーツ環境  
2004 年度…totoを活かそう！  
2005 年度…クラマーさん、ありがとう！  
2006 年度…2006 年ドイツで感じたこと  
2007 年度…サッカー観戦を楽しもう！-スタジアム編  
2008 年度…地域からみたJリーグ百年構想  
2009年度…2019年ラグビーワールドカップを語ろう！  
2010年度…育成期のサッカーを語ろう！  
2011年度…高校サッカー90年史を語ろう！  
2012年度…U-18フットサルを語ろう！  
2013年度…スポーツクラブの法人化を語ろう！  
2015年度…スポーツで“ゆたかなくらし”を！

### サロン 2002 設立宣言

(2000 年 4 月 1 日)

我々は、以下に「サロン 2002 の“歴史”」、「サロン 2002 の“志”」及び「サロン 2002 の“会員”」を述べることに  
より、ここにあらためてサロン 2002 の設立を宣言する。

#### 【サロン 2002 の“歴史”】

サロン 2002 は、社会学、心理学等の専門的立場からサッカーの分析・研究・報告に従事していた「社・心グループ」(財団法人日本サッカー協会科学研究委員会の研究グループの一つで、1980 年代後半からこの名称で活動)を前身とし、1997 年からは研究者という枠にとらわれない、幅広い人材によって構成されるゆるやかな情報交流グループ「サロン 2002」として活動を行ってきた。

#### 【サロン 2002 の“志”】

サロン 2002 は、サッカー・スポーツを通して 21 世紀の“ゆたかなくらしづくり”を目指すことを“志”とする。年齢、性別、国籍、職業、専門分野、生活地域などを超えた幅広いネットワークを築き上げ、全国各地にサロン 2002 の“志”の輪を広げ、大きなムーブメントとなることを目指す。

サロン 2002 の“志”を実現する上で、2002 年 FIFA ワールドカップ韓国／日本大会は大きな節目であると認識する。国内外の様々な人々と協力しながら、この世界的なイベントの“成功”に貢献するとともに、同大会後の“ゆたかなくらしづくり”のためにできることを考え、行動する。

#### 【サロン 2002 の“会員”】

サロン 2002 は、前項の“志”を同じくする人たちのゆるやかなネットワークである。

サロン 2002 の“志”に賛同した個人であれば、誰でも、“会員”となることができる。ただし会員は、サロン 2002 からの“Take”を求めるだけでなく、サロン 2002 に対して、また社会に対して何が“Give”できるかを常に考え、“Give and Take”の姿勢でいるということが前提である。

サロン 2002 は、会員に対して短期的な成果は求めない。長い目で見た“Give and Take”の関係が成り立っていればよい。即座のアウトプットが困難であっても、いずれ何らかの形で“Give”を考えている人なら“会員”となることができる。